図書館だより

9月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	⑯	17	18	19	20
21	㉒	㉓	24	25	26	27
28	㉙	㉚				

○印　休館日
月曜日・祝日振替(16日)・祝日(23日)・月末館内整理日(30日)

名月や宵すぐるまの心せき　蛇笏

陰暦八月十五夜の月であり、中秋の満月である。シナでは中秋節として祝うが、日本でも名月を祝う行事は全国に行きわたっている。

（『最新俳句歳時記』より）

今月の新刊案内

一般図書

図書館大好き1年生　福家珠美
得な性格損な性格　国司義彦
特上の人生　竹村健一
ローマ人の物語6　塩野七生
ビッグ・アメリカン　井上一馬
鉄、千年のいのち　白鷹幸伯
ももこの世界あっちこっちめぐり　さくらももこ
2020年からの警鐘　日本経済新聞社
大蔵支配　朝日新聞経済部
複雑さの帰結　塩沢由典
「困った人たち」とのつきあい方　ロバート・M・ブラムソン
「家族」はこわい　斎藤　学
いい子ふつうの子　麻生信子
人類の起源　高山　博
食中毒　本田武司
知っておきたい食品鮮度の知識　渡辺雄二
わが家ブランドの手づくり食品　江川　卓
夢ワイン　鳥居新平
シックハウス症候群　松木恵子
イラストやさしい野菜づくり60種　飴屋法水
キミは動物と暮らせるか？　田中康夫
全日空は病んでいる　石川芳雲
暮らしの毛筆百科　中島誠之助
骨董屋からくさ主人　中川　真
音は風にのって　瀬戸川猛資
オペラ鑑賞ガイド　オパール・ダン
シネマ古今集　高橋　治
ミセス・ダンのバイリンガル教育　中島由美
バルカンをフィールドワークする　池内　紀
文学探偵帳　内田康夫
皇女の霊柩　牛島　信
株主総会　貴志祐介
黒い家　沢田ふじ子
天空の橋　杉本苑子
風の群像　上・下　高橋源一郎
片意地へんくつ一本気　藤原伊織
ゴーストバスターズ　保坂和志
ひまわりの祝祭　村松友視
残響　本岡　類
鎌倉のおばさん　吉村　昭
羊ゲーム　椎名　誠
朱の丸御用船　三谷幸喜
ギョーザのような月がでた　吉本隆明
気まずい二人　相川俊英
夜と女と毛沢東　黒柳徹子
密入国ブローカー悪党人生　バオ・ニン
トットちゃんとトットちゃんたち　ジョン・クロウリー
戦争の悲しみ　カズオ・イシグロ
リトル、ビッグ　1・2　マイケル・シェイボン
充たされざる者　上・下　フランソワーズ・サガン
ワンダー・ボーイズ　外二一〇冊
愛をさがして

児童図書

ドキドキ夢占い&夢事典
いのちの大地
0から100までの数
完全図解最新シャボン玉あそび
いつ寝るの？
自動車ずかん
道ばたの食べられる山野草
実物大おしゃれスタンプ
女子高生・汗と涙の初登頂
モンプチ人形のぼうけん旅行
しらんぷり
ありがとう！介助犬ブルース
君をわすれない
ねじれた夏
極北の犬トヨン
ぼくはちびパンダ
シンデイア号とクジラ物語
ぼくのおにいちゃん
ペニーさん　外八〇冊

心の健康シリーズ（53）

親子の話し合いから楽しい家庭は生まれる

「自分があるようで自分がない」
「友達があるようで友達がない」
「今の子どもの心はわからない」
「子どものことを一番知らないのは親かもしれない」

神戸の小学生殺害事件の犯人逮捕の後報道された識者の声です。

全く、あの殺害事件にも恐怖を覚えましたけれども、犯人が逮捕されて、十四歳の中学生の犯行と聞き、誰しも大きなショックを受けたことと思われます。

あれだけの犯罪を犯した少年の日ごろの言動に家族も、周囲も余り注意が足りなかったのでは？

平素、親や周囲の人は、その人を信頼しきって言動を見過ごしがちです。

確かに、日ごろ、親は子どもに何かと注意めいた話はしていますが、子どもの話をじっくり、真剣に聞くことは少なく、仕事の片手間に、また、聞き流しているのではないでしょうか。

学校から帰った子どもが、お母さんに話したくて、せきこんで「お母さん、お母さん、あのね・・」というと「お母さん　今ちょっと忙しいから後にしてね」では、子どもは話したいと思う気持ちをそがれてしまい「もう、どうでもいいや、いつも、お母さんなんか僕の話を聞いてくれないんだから・・・」

こんなことで、子どもはだんだん無口になり、しまいには、お母さんが聞いても話したがらなくなってしまいます。と同時に話しつけないからうまく筋道立てて話ができなく、お母さんが聞こうとすると面倒臭そうに「しらない」「やったとか言った」など単語調で会話にならず、お母さんも面倒になりそれ以上の会話を続ける元気も消え失せてしまい、ますます親子の会話は途絶えてしまい、親子の心は離れてしまいます。

子どもの話はたわいのないような話かも知れませんが、話を真剣に聞くことによって子どもの心の中や子どもの行動関係、友達関係など子どもの社会がみえ、子ども理解に結び付くことが潜んでいるのです。

親が真剣に聞いてやることによって子どもは話しじょうずになるし、親としても子ども理解に結び付き、親子関係を一層深めることができます。

「口は心の窓」とも言われます。話すことによって子どもの心の中が見えてきます。子どもにも親の心が見えます。

お互いに安心した楽しい家庭が築かれていきます。

子どもの悩みごとは教育相談室へ
☎（43）1323